

長野県林業総合センタ - 塩尻市片丘 5739
Nagano-prefectural Forestry Research Center

TEL 0263-52-0600

FAX 0263-51-1311

ササが咲いていませんか

キ-ワ-ド:ササ、開花、結実、発芽

最近、ササが咲いているとの話を聞くことが増えてきました。もしかするとササが一斉に開花する前触れかもしれません。



クマイザサの花（東筑摩郡山形村）

ササの花

ササは県内の山野でごく普通に目にしますが、地下茎で繁殖するため、めったに花を見ることがありません。しかし、5月の下旬から7月頃に花を咲かせることがあります。花は地味で、外見的には稲の花に似ています。

表 1998年の開花記録

開花場所	種類	面積
岡谷市塩嶺	ミヤコザサ	ごく小面積
松本市美ヶ原	クマイザサ	小面積で点在
山形村清水	クマイザサ	400㎡他1ヶ所
朝日村	不明	比較的広範囲
穂高町常念岳	チシマザサ	25㎡
穂高町牧	チマキザサ	1個体のみ
安曇村上高地	クマイザサ	小面積で点在
奈川村寄合渡	クマイザサ	小面積
白馬村八方尾根	クマイザサ	一部個体のみ
長野市飯綱山	不明	不明
長野市北郷	チシマザサ	15㎡
長野市信更町	クマイザサ	0.2ha以上
高山村毛無峠	チマキザサ	比較的広範囲
山ノ内町志賀高原	チマキザサ	50㎡他1ヶ所
山ノ内町焼額山	チシマザサ	1㎡

ササの開花現象

ササの開花は、一斉に起きることが良く知られています。ササは花を咲かせると枯死す

るため、一斉開花すると、その後数年間はササが回復してきません。このため、特異な自然現象として注目されており、昭和31年には長野県南部から岐阜・愛知にかけて70,000haにわたり開花したという記録も残されています。このような大規模な開花はめったに見ることはなく、県下では過去30年間に戸隠村の1例（昭和49年）が認められただけです。

しかし、小さな面積で開花することもあります。1998年には表に示した場所で、ササの小面積開花を確認しました。

開花周期

ササは、60年に一度咲くなどといわれていますが、正確な周期はきちんと調べられておらず、よくわかりません。1995年に大規模開花が発生した十和田湖周辺では大規模な開花のなかに10%程度の生き残り個体が見られました。どうも開花個体の中に地下茎まで枯死しない個体が存在するようです。



クマイザサの発芽

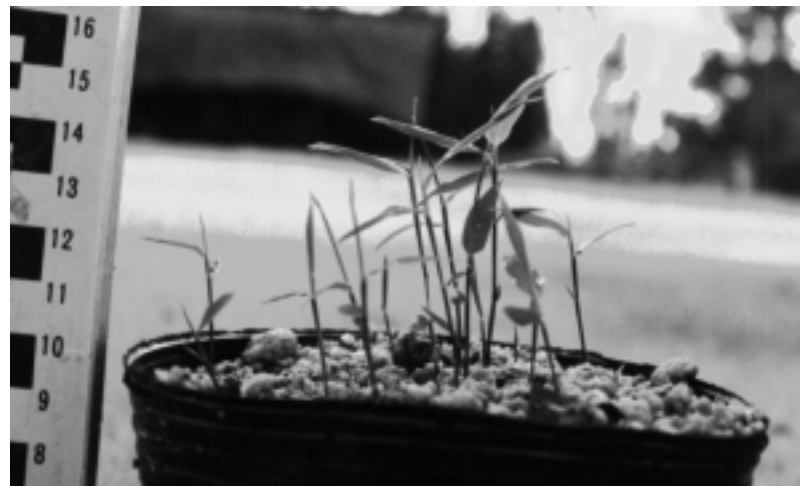
ササの発芽

ササは開花してから40～50日すると実を付けます。種子は米粒ほどの大きさで、熟すとばらばらと地上に落ちてきます。その後、冬を越して翌春に発芽してきます。

昨年、山形村で採取した種子を5ヵ月ほど低温湿層貯蔵して発芽試験を行ったところ、2週間ほどで発芽し、4ヵ月後には発芽率が50%近くになりました。

ササが咲くと飢饉になるか？

よくササが開花すると「飢饉が起きる」とか「不幸の前触れである」といった言い伝えが残されています。これは、ササの開花がめったにおこらないことと、ササの実の栄養価が高く、昔は飢饉の時の非常食としてこの実を貯えたことなどから、ササの開花と飢饉が結びついたと推測され、ササが咲いたから飢饉になると言うことはありません。



クマイザサの実生発生個体

しかしササの開花についてはよくわかっておらず、全国的にもあまり調べられておりません。ササの開花を見つけたらご連絡ください。

担当者 育林部 小山泰弘